

施策名：青少年の健全育成

事業名	担当課・室名	ページ
大分県少年の船運航事業	私学振興・青少年課	1 / 2
青少年自立支援対策推進事業	私学振興・青少年課	2 / 2

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	大分県少年の船運航事業		事業期間	昭和55年度～平成 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	
						施策区分	青少年の健全育成	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	私学振興・青少年課		評価者	私学振興・青少年課長 森高 美代子	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	青少年の日常生活における実体験不足等が指摘される中で、青少年の豊かな心をはぐくむため体験活動の機会の確保が求められている。	事業の目的	少年の船運航事業に要する経費への補助を行い、体験活動プログラムを通して参加者の規範・社会性への意識の醸成、ひいては心身ともにたくましい青少年の育成を図る。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①少年の船運航事業への補助 少年の船運航事業(船内研修・環境教育・平和教育など)に要する経費の一部を補助(参加者552人) ②リーダー・班長研修の実施 小学生団員の研修効果を高めるための事前・事後研修	①	43,849	総コスト	56,507	54,968	55,401
	②	3,119	事業費	48,507	46,968	47,401
	③		(うち一般財源)	42,875	41,336	41,769
	④		人件費	8,000	8,000	8,000
	計	46,968	職員数(人)	0.80	0.80	0.80

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	乗船応募者数(小学生：人)	目標値	304	258	278		93%							a	
		実績値	456	471											
		達成率	150.0%	182.6%											
	リーダー・班長研修の開催(回)	目標値	5	6	6		7%								
		実績値	5	6											
		達成率	100.0%	100.0%											

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
								目標値	実績値
	乗船した社会人リーダー数(累計：人)	目標値	205	212	217		a	県内各地から参加した小学生は、集団での宿泊や様々な活動を通して、協調性やコミュニケーション力、判断力、表現力が育まれている。また、リーダーとして乗船し、小中高校生の研修を後方から支援する青少年団体指導者等は、降船後も地域における青少年健全育成等に取り組むなど地域づくりの一翼を担っている。	
		実績値	209	214					
		達成率	102.0%	100.9%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 小学生団員の研修効果を高めるためのスタッフ対象の事前研修の充実 小学生団員の協働的・対話的な活動の充実 青少年育成指導者の養成と確保 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> コーチングやチームビルディング等の手法を取り入れたリーダー、班長(高校生)対象の研修を実施 班長を中心とした班活動のプログラム充実 乗船経験で得た知識や技術、人間関係を更に深め広げるためのフォローアップを実施 身につけてほしい力を明確にし、乗船前と乗船後の変化を調査し、次年度の研修を検討 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	青少年自立支援対策推進事業		事業期間	平成19年度～平成 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
				施策区分	青少年の健全育成		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	私学振興・青少年課		評価者	私学振興・青少年課長 森高 美代子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	インターネットなどの情報通信技術の進展、非正規雇用をはじめとする経済・雇用環境の急激な変容など、青少年を取り巻く社会環境の変化になじめない若者への支援が課題となっている。	事業の目的	ニート・ひきこもりなどの問題を抱える青少年やその保護者などを対象に総合相談を実施し、支援団体・機関につなぐことで、青少年が社会と接する機会を提供する。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①おおいた青少年総合相談所の運営 青少年の相談・支援を行う3機関を1か所に集約して開設した「おおいた青少年総合相談所」を運営(平成26年度～)	①	11,377	総コスト	23,456	25,812	31,035
	②	9,437	事業費	18,456	20,812	26,035
②青少年自立支援センターの運営 おおいた青少年総合相談所内で青少年自立支援センターを運営し青少年及びその保護者などへの総合相談を実施 委託先：社会福祉法人 清浄園	③		(うち一般財源)	8,554	9,638	10,931
	④		人件費	5,000	5,000	5,000
	計	20,814	職員数(人)	0.50	0.50	0.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	連携先支援機関・団体数(団体)	目標値		50	51	52			55%	目標値					
実績値			50	55			実績値								
達成率			100.0%	107.8%			達成率								
青少年自立支援センターの周知・広報件数(件)	目標値		115	120	125		45%	目標値						a	
	実績値		115	120				実績値							
	達成率		100.0%	100.0%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
青少年自立支援センター相談件数(件)	目標値		1,060	1,070	1,080		a	3相談・支援機関のワンストップ化による利用者の利便性の向上、広報活動の強化の結果、おおいた総合相談所の相談件数が増加した。青少年自立支援センターにおいてもスペース拡充にプライバシーの保護が図られ、来所者数が増加した。また、支援機関等へのアプローチ支援による相談件数も増え、関係支援機関との連携充実を図ることができた。
	実績値		1,149	1,333				
	達成率		108.4%	124.6%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 支援者の養成、連携先支援機関・団体の掘り起こし・確保 支援機関・団体、市町村、学校等のネットワークの継続的強化 相談に来られない青少年や家族等への支援(訪問支援等)の充実 市町村相談窓口(自立相談支援窓口、生活困窮者支援窓口)の利用促進 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 来所が困難な青少年等に対する支援(訪問支援等)の充実及び高等学校等教育機関との情報共有・連携強化 NPOとの協働(「親の会」運営支援及び社会的自立のための学習支援)を推進 生活困窮者支援法施行(H27.4)により福祉事務所設置自治体が行い取り組む自立相談支援事業の市町村自立相談支援窓口の積極的な利用を促進 				